

令和6年度第2回尾張旭市健康推進委員会 議事録〔要旨〕

【開催日時】

令和6年12月16日（月）

開会 午後1時30分

閉会 午後2時20分

【開催場所】

尾張旭市保健福祉センター4階 シアタールーム

【出席委員：11名】

安井 徹郎 （瀬戸旭医師会）
古峪 秀樹 （尾張旭市歯科医師会）
裕原 吉久 （尾張旭市薬剤師会）
若杉 里実 （愛知医科大学）
下村 波基 （尾張旭市自治連合協議会）
大橋きよ子 （尾張旭市地域婦人団体連絡協議会）
久野 博行 （尾張旭市スポーツ協会）
大池 幸子 （尾張旭市食育ラボ）
吉田 民子 （尾張旭市健康づくり推進委員会）
古橋 完美 （瀬戸保健所）
丸山 雄二 （公募委員）

【欠席委員：2名】

小川 浩平 （旭労災病院）
松浦 哲生 （公立陶生病院）

【傍聴者】

なし

【出席した事務局職員等】

西尾健康課長、川原課長補佐兼健康増進係長、上原母子保健係長、宮下副主幹

【議題】

「第3次健康あさひ21計画」の素案について

【会議の概要】

- 1 開会
- 2 議題
- 3 その他
- 4 閉会

1 開会

<欠席委員、会議公開についての報告、資料確認>

2 議題

「第3次健康あさひ21計画」の素案について

<事務局より資料に基づき説明>

(A委員)

フレイルという言葉が分かりません。これは何ですか。

(委員長)

介護までは要らないが、健康状態ではない方ということです。

(A委員)

時々分からない言葉が出てきます。

(事務局)

分かりやすいように注釈をいれるようにします。

(B委員)

重点目標と指標とありますが、実施事項が実際に何をやるのかよく分かりません。行政の取組は具体的に書いているのに、市民、団体の取組は具体的なものが見えません。健康指標と行動指標、環境指標の関係が意識されていないのか分かりにくいです。

(委員長)

確かに行政の取組に対してはしっかり書かれていますが、市民、地域団体の取組に関しては大枠のみになっています。

(事務局)

一般的な目標という形で示させていただいています。幅広い方を対象としているので、具体的なものはなかなか難しいです。

(B委員)

行政側が分かっている、市民側は分かりません。市民、団体の取組は「しましょ」となっていますが、基本的に計画は行政側の取組に書かれているように「します」でないといけません。

(C委員)

前回の会議で我々なりに意見を出していたのですが、今回の会議でそれが反映されているのかが分かりにくい気がします。自分はほかの自治体の会議に参加しているので、それを踏まえて発言させていただきますが、もっと住民目線で市民に分かりやすい言葉で、分からない言葉は分かるようにお願いしたいです。ほかの自治体が工夫をしてくれているのを見ていますので、尾張旭市さんは形式的だと感じます。

(委員長)

表記の内容を含めて、もう少し検討できると思います。ほかの自治体は具体的な表現になっているのでしょうか。

(C委員)

似た形ですが、言葉の使い方が違います。ほかの自治体ではこの段階で注釈がついています。せっかく住民の代表が出てきて、会議やワーキングをして意見をいただいているのだから、そこで出た言葉を入れた中で作っていかないといけません。ここの住民が分かるような言葉を使っていけば、みんなで一緒にやっということになり、それが自然と健康になれる取組に近づくのだと思います。計画の方向性はあっているのに、使われている言葉は目線が高いです。説明もほかの自治体では30分掛けているのに、5分では短く、分かりません。

(委員長)

次回に向けて検討して、もう少し言葉使いや説明時間も含め、丁寧をお願いします。

(B委員)

計画の中に出てきませんが、健康マイスター手帳と健康ポイントプログラムの関係はどのようになっているのでしょうか。

(事務局)

健康マイスター手帳は健康プログラムよりも前にできており、健康都市推進室というところが中心で作られているものです。人の健康に限らず、環境問題、地域活動のことも入っており、まち全体を健康にしていこうというのが健康マイスターとなっています。健康ポイントプログラムは人の健康だけに焦点を当てたものであり、今回の計画も人の健康に焦点を当てたものになっているので、いろいろな分野が関わってくる健康マイスター手帳は入れにくいです。

(B委員)

逆ではないでしょうか。健康マイスター手帳に筋トレやウォーキングなどがあったりするので、この計画と重なっている部分だけでも実績を載せれば、参考になるのではないのでしょうか。作業部会も市の職員だけでやっており、関連する方を呼んでおらず、偏りがある気がします。

(事務局)

健康マイスターは市全体の取組であるので、ほとんどの課が携わっています。今回の健康ポイントプログラムは健康課だけのものになり、教室に参加した人や研修に参加した人にポイントを渡すものになります。市全体の健康づくりに関して、健康マイスター手帳は有意義に働いていますので、関係性などをもう少し細かく紹介して、示していく必要があると思いました。検討していきたいと思います。

(D委員)

市民向けに食育ラボやっているが、最初はマイスター手帳を持って来られない方が多かったが、最近ではマイスター手帳を持ってきている人が増えてきており、広がってきたのではと感じています。

(委員長)

マイスター手帳が有効に機能してきているということですね。せっかく機能しているのなら、紹介だけでなく、組み込んでいただければいいかもしれません。

3 その他

<パブリックコメント、次回会議日程、会議報酬について>

(B委員)

会議の構成委員について欠員が出ていますが、市民の声を反映するという点で欠員補充を速やかにするべきではないでしょうか。

(事務局)

欠員だからといって必ず補充する必要はありません。委員の任期中、あと1回の会議のみとな

り、新しい委員をいれることは考えていません。

(B委員)

新しい人に入っていただいたら、新鮮ないろいろな意見が出てくると思います。
意欲のある方はいると思います。手を挙げられている人に適任の方がいらっしゃると思うので、指名すればよいのではないですか。

(事務局)

あくまで定員は15名以内で、欠員が出た場合に必ず補充するという規定はありません。

(委員長)

委員の選任のルールを皆さんが理解しているわけではないので、規定はないのですか。

(事務局)

特に定めがない部分になります。この会は附属機関となっているので、附属機関の担当部署に確認して判断したいと思います。

(委員長)

一度確認をお願いいたします。

4 閉 会

以上